

スぺーシア 車いす移動車

取扱説明書

お車の中に保管してください。
ご使用前によくお読みください。









このたびは スズキ スペーシア 車いす移動車をお買い上げいただき、ありがとうございます。


ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お車は取扱いを誤ると事故や故障の原因となります。この取扱説明書をよくお読みいただき、いつまでも快適なカーライフをお楽しみください。

- この取扱説明書は、車いす移動車としての特別な装備についての取扱い方法を説明しています。その他の取扱いについては、別添の「スペーシア取扱説明書」にて説明してありますので、そちらも必ずお読みください。
- 別添の「スペーシア取扱説明書」にある「必読 安全で快適なカーライフのために」は、特に重要な項目ですのでしっかりお読みください。
- この取扱説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

 警告、 注意、 アドバイスのところは、特にしっかりお読みください。

 警告	取扱いを誤ると、死亡または重大な傷害を生じる可能性が想定される内容です。
 注意	取扱いを誤ると、傷害を負う可能性がある、または物的損害の発生が予想される内容です。
 アドバイス	お車のために守っていただきたい、または知っておくと便利な内容です。

- イラストの中で「」の記号が使用してあるときは、図示されている行為の禁止を示しています。
- この取扱説明書において「車両」とは「スズキ スペーシア 車いす移動車」を意味します。
- この取扱説明書は、別添の「スペーシア取扱説明書」および「メンテナンスノート」とともに常にお車の中に保管しておいてください。
- 車いす移動車の保証に関することや点検整備については別添の「メンテナンスノート」または「保証書」をお読みください。
- お車をおゆずりになるときは、次に所有される方のために、別添の「スペーシア取扱説明書」および「メンテナンスノート」とともにこの取扱説明書をお車につけてお渡しください。
- 車いすの種類によっては、固定手順が変わること、および固定できないタイプがありますので、担当セールススタッフにご相談ください。
- ご不明な点は担当セールススタッフにおたずねください。
- 限定車の装備品や、スズキ販売店またはスズキ代理店で取り付けられた装備品などについては、装備品に添付されている取扱説明書をお読みください。
- 車の仕様などの変更により、この本の内容やイラストとお車が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。

目次

必読 安全で快適なカーライフのために	4
搭載可能な車いすについて	5
お子さま用シートの装着について	5
出発の前に	6
走行中は	7
操作と取扱い	8
スロープの設置／収納	8
リモコンの取扱い／電池交換	10
リヤシート（4人乗り仕様車）	12
リヤシートのはね上げ（ダブルフォールディング）	12
手すり	15
手すりの使用と格納	15
車いすの乗せ降ろしと固定について	17
各部の名称	17
車いすの乗せかたおよび固定のしかた	18
車いすの降ろしかた	24
モーターチェアの乗せ降ろしと固定について	27
各部の名称	27
モーターチェアの乗せかたおよび固定のしかた	28
モーターチェアの降ろしかた	34
車いす乗員用シートベルト	37
車いす乗員用シートベルトの着用のしかた	37
車いす乗員用シートベルトのはずしかた	41
万一のとき	42
パンクしたとき	42
前部ウインチ兼固定ベルト、後部固定ベルトともに作動しないとき	42
点検整備について	43
後部固定ベルトの点検	43
テールゲート（スロープを含む）の点検	43
前部ウインチ兼固定ベルトの点検	43
点検整備方式	44
リコールなどについて	44

必読 安全で快適なカーライフのために

安全のために知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことをまとめてあります。よくお読みになって順守してください。

警告

- 車いす乗車スペースには荷物を置いて走行しないでください。急ブレーキ時や衝突時に荷物が動いて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車いすの乗降（固定・解除）は、介助者が行なってください。車いすご使用の方だけ（手動・電動を含む）では乗降（固定・解除）をしないでください。脱輪や転倒により思わぬ事故につながるおそれがあります。
- この車のシートにはお子さま用シートが必要なお子さまを乗せないでください。お子さま用シートを適切に取り付けることができないため、万一の事故でお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 前部ウインチ兼固定ベルト、後部固定ベルト、モーターチェア固定用のラッシングベルト（別売り）にほつれ、すりきれ、破れなどの異常があるとき、またはバックルや金具が変形したり、部品が欠落したときは、使用しないでください。車いすを確実に固定することができず、思わぬ事故につながるおそれがあります。このようなときは、担当セールススタッフにご相談ください。
- フロア内に直接水をかけないでください。降雨などでフロア面がぬれたときや、フロア内を清掃するときは、水気をよくきったモップなどでふいてください。ウインチに水などが入ると故障の原因になり、重大な事故につながるおそれがあります。

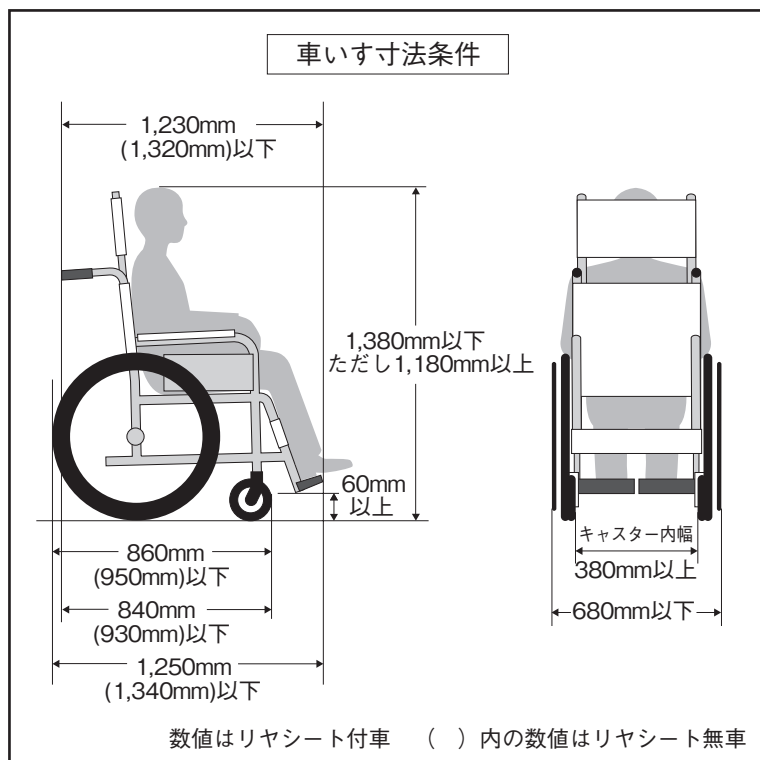


注意

- 乗車使用の目的で本車両に乗せること（固定）のできる汎用車いすは、アームレストの下にシートベルトを通すことができる構造のものに限られます。この条件を満たさない汎用車いすは使用しないでください。
 - バックドアから荷物などを出し入れする際は、頭・顔・手などがスロープに接触しケガなどしないようスロープを展開して行なってください。
- 車いすの固定のしかたは、車いすのタイプにより異なりますのでタイプ別に説明してあるページをお読みください。

■ 搭載可能な車いすについて

- 車いすが寸法条件を満たしているか、必ずご確認ください。
- 寸法条件を満たしていても、車いすの形状などによっては、乗車できない場合がありますので、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- スロープの耐荷重は、200 kg（車いす+車いす乗員+介助者）までです。
- ウインチの昇降能力は車いすと車いすの乗員を合わせて 120 kgまでです。これ以上の場合は、介助者が車いすを押し上げたり、降車時に車いすを支えたりする必要があります。

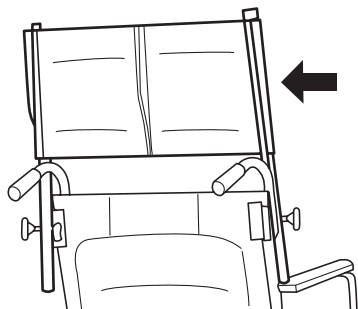


■ お子さま用シートの装着について

- この車の助手席シートおよび後席シートともにお子さま用シートを適切に取り付けることができません。

■ 出発の前に

- 車いすは、必ず車いす固定装置で固定してください。
- 車いすはヘッドレストが装着されているものを使用してください。ヘッドレストが装着されていない場合は、オプションの車いす用ヘッドレスト（別売り）を装着し、適切な位置（ヘッドレスト中央が耳の後方になる高さ）に調整してください。
※ 車いす用ヘッドレストのご購入については、スズキ販売店およびスズキ代理店にお問合わせください。



- 車いすのタイヤにき裂、損傷、摩耗などがなく、またタイヤの空気圧が適正かどうかを点検してください。

🔧 アドバイス

- 汎用車いす、スズキのモーターチェアのタイヤの適正空気圧については、それぞれの車いすに添付されている取扱説明書をお読みください。
- シートベルトを着用するときは、ベルトにねじれがないことを確認してください。
- 車両のテールゲートやバックドアが確実に閉まっていることを確認してください。

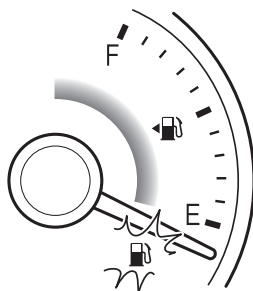
■ 走行中は

- 車両の最低地上高がスぺーシア標準車（15. 5 cm）に比べ低い（約 14. 5 cm）ため、凹凸のはげしい路面の走行や後退時には、車体や排気管を損傷しないよう十分注意して運転してください。
- 車いすの周辺から異音が発生したときは、すみやかに安全な場所に停車し、車いす固定装置を点検してください。
- 急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキ、急激なエンジnbrakeキなど「急」のつく運転は避けてください。
- 燃料タンクの容量は27Lです。スぺーシア標準車と同容量です。



注意

- 燃料残量警告灯が点灯したときは、燃料がほとんどありません。ただちに給油してください。



スロープの設置／収納

4人乗り仕様車の場合は車いすを収納する前にリヤシートをはね上げておいてください。

→ 12 ページ (リヤシートのはね上げ (ダブルフォールディング))

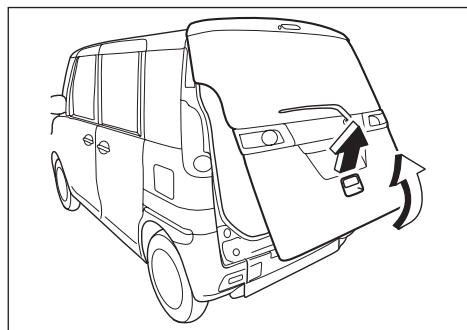


警告

- スロープを設置するときは、エンジンを止めてください。排気熱により、やけどをするおそれがあります。

■ スロープの設置

1. 交通のじゃまにならず、安全に乗車できる平らな場所に停車します。
2. パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーを **[P]** に入ってください。
3. エンジンを止めます。
4. 車外のハンドルを手前に引いて、バックドアを持ち上げ全開にします。



注意

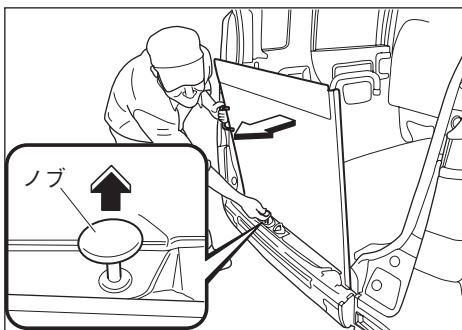
- バックドアが全開のときは、頭などをぶつけないようにしてください。



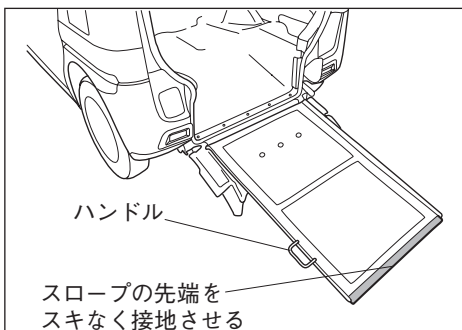
アドバイス

- バックドアは、平らな場所で操作してください。凹凸のある不整地や、段差の大きい場所では、開閉しにくい場合があります。

5. スロープのハンドルを持ち、テールゲートのノブを引きながら、手前に引きます。



6. スロープが接地するまでテールゲートをゆっくりと倒します。



警告

- テールゲート (スロープを含む) を操作するときは、スロープのハンドルを持って行ってください。また、操作する人はもちろん、周囲の人の手や足などをはさまないように、また、顔や頭をぶつけないよう注意してください。



注意

- テールゲート（スロープを含む）は、平らな場所で操作してください。凹凸のある不整地や、段差の大きい場所では、テールゲート（スロープを含む）の破損またはバンパーを傷つけるおそれがあります。

■ スロープの収納

収納するときは、逆の手順で行ないます。ただし、テールゲートを閉めるときにはノブを押す必要はありません。必ずスロープのハンドルを持って操作してください。

テールゲートを閉めたあとは、テールゲートをゆさぶって確実にロックされていることを確認してください。



警告

- テールゲート／バックドアが確実に閉まっていることを確認してください。半ドアの状態で行くと、走行中不意にテールゲート／バックドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。
- バックドアを閉めるときは、車いすご使用の方の頭にぶつけないように十分気をつけて操作してください。

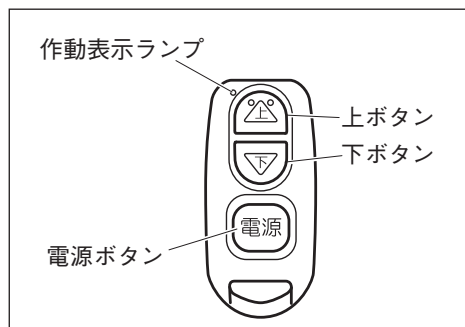


注意

- テールゲートを閉めるときは、スロープ先端のゴム部分を持たないでください。ゴム部分を持って操作すると、ゴムがはずれるなどしてテールゲート（スロープを含む）が倒れてくるおそれがあります。スロープのハンドルを持って、確実に閉めてください。
- テールゲートを閉めるときは、テールゲート（スロープを含む）と車いすがぶつからないことを確認してください。確認せずに無理な力をかけて閉めると、テールゲート（スロープを含む）と車いすが破損するおそれがあります。
- テールゲート／バックドアが確実に閉まっていることを確認してください。半ドアの状態で長時間放置しておくと、バッテリーあがりの原因になります。

リモコンの取扱い／電池交換

■ リモコンの取扱い



- 電源ボタンを押し、作動表示ランプが点灯した後、上または下ボタンを押します。誤作動防止のため、6秒以上放置すると、自動的に電源が切れます。
- 上・下ボタンを押し続けている間作動し、手をはなすと作動を停止します。
- 操作の途中や車いすを固定した状態で電池が切れた場合は、十分注意してベルトフリーモードで車いすを降ろしてください。
- 持ち運ぶときは、紛失しないように注意してください。



警告

- 植込み型心臓ペースメーカーなど医療用電気機器をお使いの方は、リモコンから約22cm以内に、医療機器が近づかないようにしてください。
電波により、植込み型心臓ペースメーカーなど医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー以外の医療用電気機器をお使いの方は、リモコンをお使いになる前に、医療用電気機器の製造事業者などに個別でご相談ください。
電波により、医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。



注意

- エンジンを停止しているときのひんぱんなボタン操作はしないでください。バッテリー上がりの原因になります。
- リモコンの分解（電池交換時を除く）や修理、改造をしないでください。発火や感電、けがのおそれがあります。また、法律により処罰されることがあります。
- 適合証明マークの消去、改ざんをしないでください。
- リモコンの清掃に、シンナー、ガソリン、ベンジンなどの溶剤を使用しないでください。

表面が変形するおそれがあります。清掃するときは水またはぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってから拭いてください。

- 周囲の状況やリモコンの電池の消耗状況により、リモコンの作動範囲がせまくなったり、作動しない場合があります。また、強い電波やノイズのある場所では、上・下ボタンを押しても前部ウインチ固定ベルトが作動しない場合があります。そのような場合は、一度上・下ボタンから、手をはなして位置を変え、操作してください。上・下ボタンを押したまま移動しても前部ウインチ固定ベルトは作動しません。



アドバイス

- リモコンには、精密な電子部品が組み込まれています。電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ インパネの上などの高温になるような場所に置かない
 - ・ 落下させるなどして、強い衝撃をあてない
 - ・ 水洗いをしたり、水中に入れたりしない
 - ・ 磁気をおびたキーホルダーなどをつけない
 - ・ テレビやオーディオなど磁気をおびた機器の近くに置かない
 - ・ 電気医療機器（マイクロ波治療器や低周波治療器など）の近くに置いたり、身につけたまま治療を受けたりしない

アドバイス

- 電源ボタンを押しても作動表示ランプが点灯（赤色）しないときは、電池切れが考えられます。リモコンの電池交換（11 ページ）の順に従って電池を交換してください。
- リモコンを紛失し、新たに購入される場合は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

■ リモコンの電池交換

トランスミッター（送信機）の操作時に、ボタンを押しても作動しないときや、作動範囲が狭く、不安定になったときは、電池切れが考えられます。

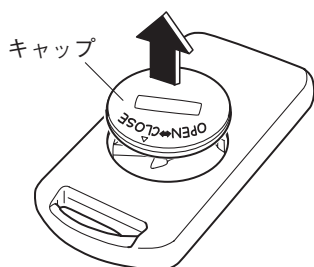
電池の交換をする場合は、下記の手順で交換してください。

電池の規格：リチウム電池 CR2032

注意

- 電池の＋側と－側は必ず正しく取り付けてください。液漏れなどにつながるおそれがあります。
- 電池を交換するときは電極を折りまげたり、油などがつかないように注意してください。また、トランスミッターの内部にゴミなどを付着させないでください。故障につながるおそれがあります。
- 電池を交換してもトランスミッターが作動しないときは、販売店にご相談ください。

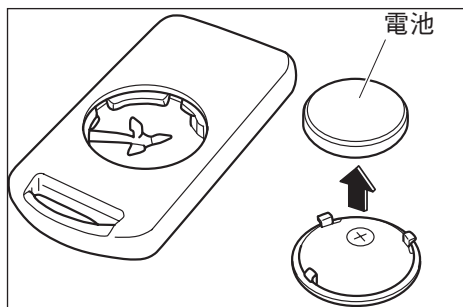
1. コインなどを使って、キャップをまわして取りはずします。



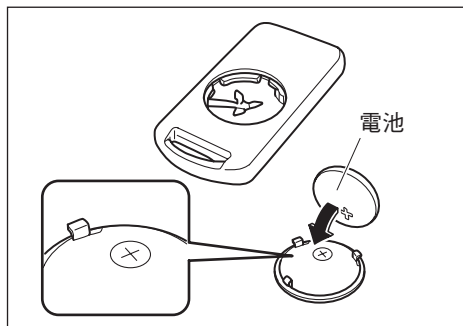
注意

- キャップをまわしすぎないようにしてください。破損するおそれがあります。

2. 電池を取り出します。



3. 新しい電池の＋側を下にして、電池を差しこみ取り付けます。
4. キャップを閉めます。



リヤシートのはね上げ (ダブルフォールディング)



警告

- ヘッドレストを取りはずした後取り付けるときは、本来の効果を発揮させるために次のことをお守りください。
 - ・ヘッドレストはしっかりと固定する
 - ・ヘッドレストをはずしたまま走行しない
 - ・フロントシートとリヤシートのヘッドレストを入れ替えない
 - ・ヘッドレストを前後逆に取付けない

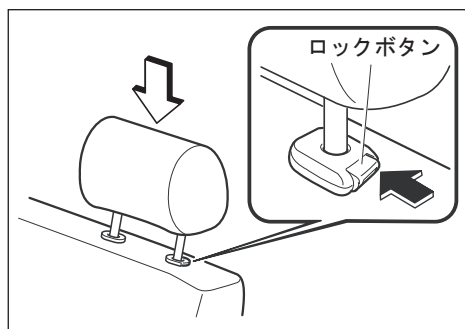


注意

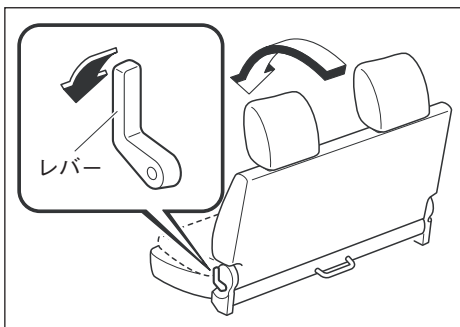
- 背もたれを格納したり、もとにもどすときに、手や足をはさんだり、背もたれを身体にあてないように操作してください。

■ はね上げるとき

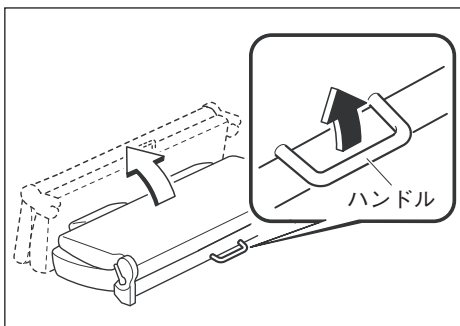
1. ロックボタンを押したまま、ヘッドレストを押し込みます。



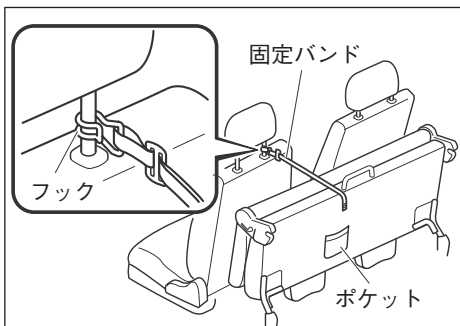
2. レバーを押して、背もたれを前に倒します。



3. ハンドルを引いてロックを解除し、シートを前に起こします。



4. シートが倒れないように手で支えながら、固定バンドのフックをフロントシートのヘッドレストステーにかけます。





警告

- リヤシートをフロントシートにぴったりと合わせて固定バンドで締めてください。固定バンドがゆるんでいると、シートが後ろに倒れて車いすご使用の方に当たるなどして重大な傷害につながるおそれがあります。
- 固定バンドは確実にヘッドレストステーにかかっていることを確認してください。固定バンドがはずれていると、起こしたシートが後ろに倒れて車いすご使用の方に当たるなどして重大な傷害につながるおそれがあります。



アドバイス

- 固定バンドのフックはリヤシート背面のポケットに収納されています。
5. 固定バンドの長さを調節して、リヤシートを確実に固定します。

■ もとにもどすとき

1. シートが倒れないように手で支えながら、フロントシートのヘッドレストに取り付けた固定バンドのフックをはずします。



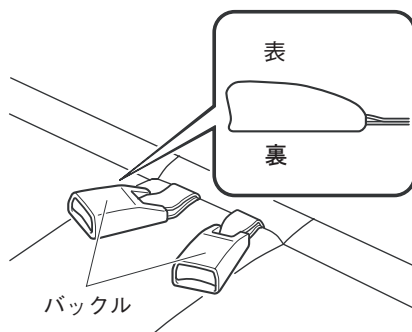
アドバイス

- 固定バンドのフックはリヤシート背面のポケットに収納してください。
2. シートをゆっくり後に倒し、フロアのフックに押し付けて固定します。
 3. 背もたれを起こします。
 4. 背もたれとシート座面を軽くゆさぶって確実にロックされていることを確認してください。



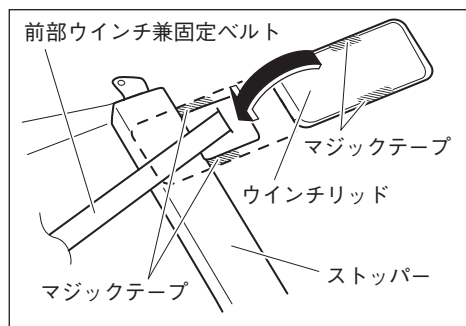
アドバイス

- シートをもとにもどした後は、シートベルトのバックルの表を上向き（シートベルトがねじれていない状態）にしてシートクッションの上に置いてください。



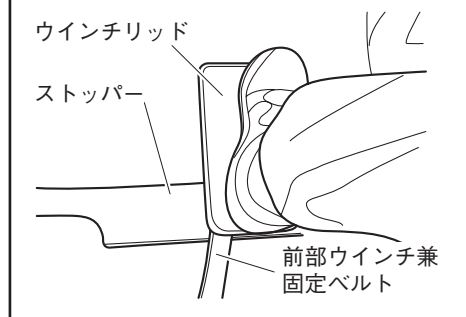
リヤシート (4 人乗り仕様車)

5. ウインチリッドを閉じ、マジックテープで固定します。



注意

- ウインチリッドのマジックテープ上面を押えてしっかり固定してください。ウインチリッドがしっかり固定されていないと、足を滑らせてけがをするおそれがあります。



手すりの使用と格納

車いす乗車スペースの両側に設置されています。車両走行中、車いすご使用の方が手で持つて体を支えることができます。

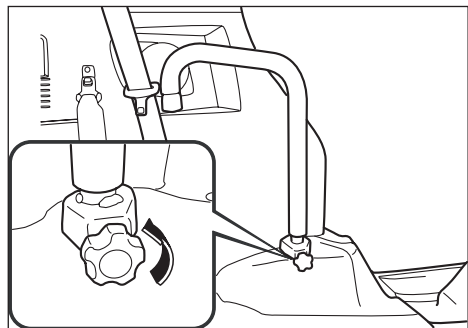


注意

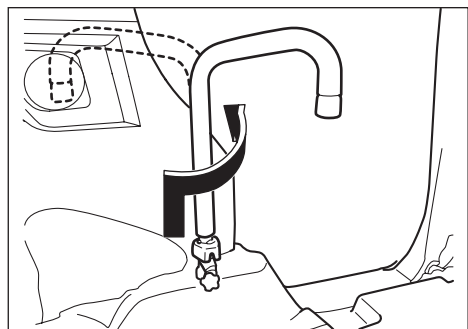
- 故意に手すりを引っ張るなど過度な力をかけないでください。車両を損傷するおそれがあります。

■ 手すりを使用するとき

1. ノブをまわし、ゆるめめます。

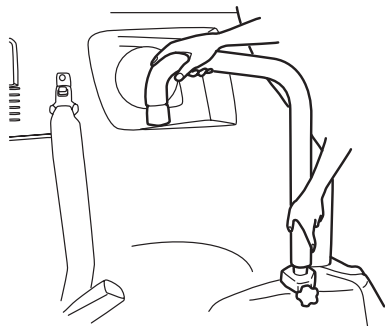


2. 手すりを上方に持ち上げて抜き、回転させます。

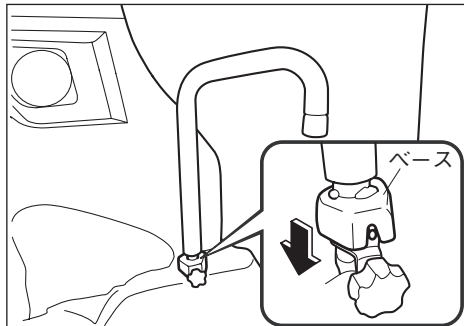


👉 アドバイス

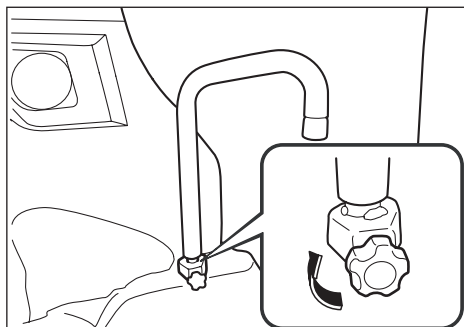
- 手すりを取りはずす際は手すりの根元を手で持ち、もう片方の手で手すりを支えて真上に引き上げてください。



3. ベースの溝とノブの軸を合わせ、ハンドルを差し込みます。



4. ノブをまわして手すりを固定します。





警告

- 手すりは走行前に所定の位置で確実に固定してください。走行中や、車いす乗車の方が使用した際に手すりが動き姿勢が不安定になるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ 格納するとき

手すりを使用するときと逆の手順で格納します。

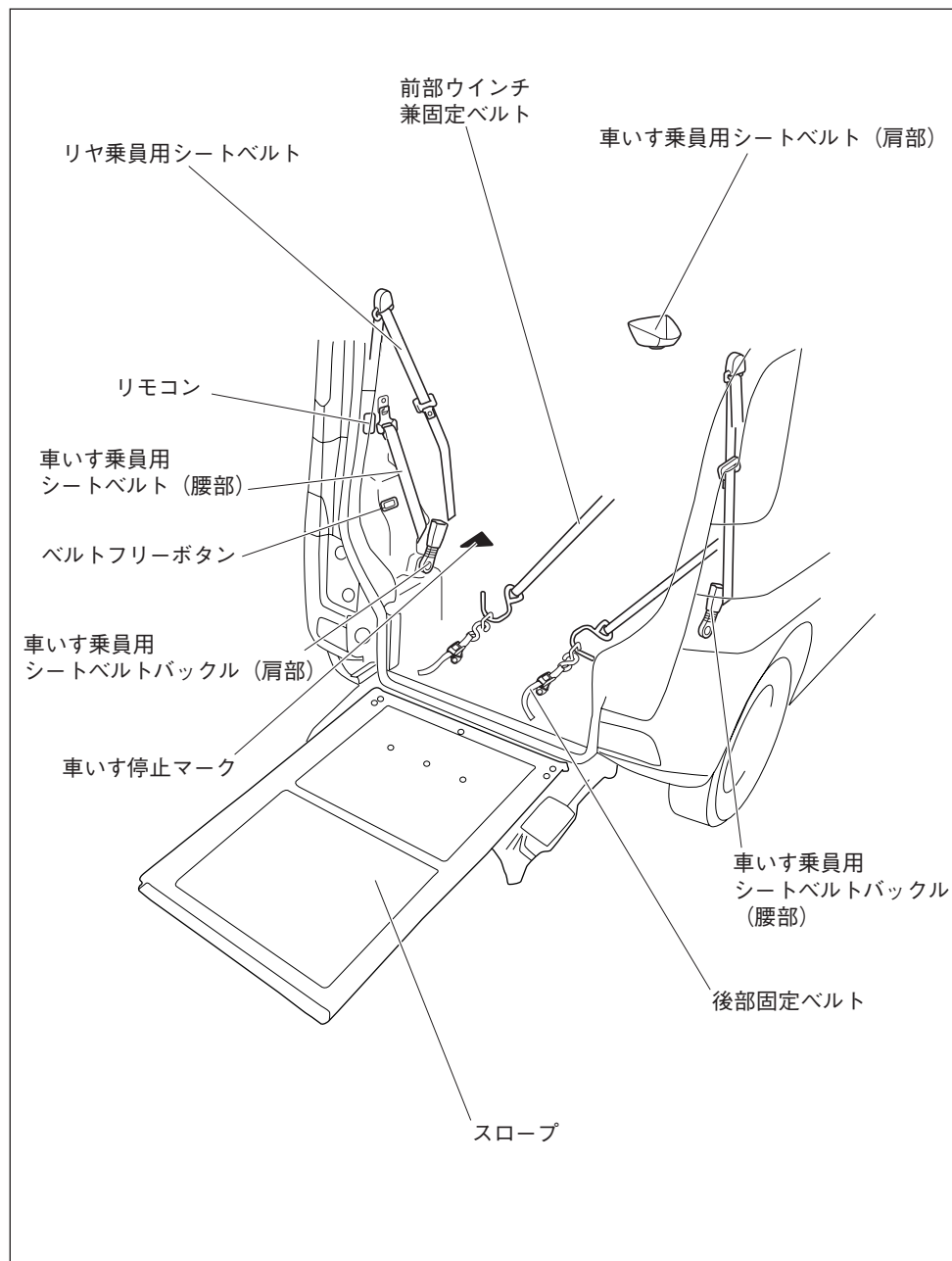


アドバイス

- リヤシートを操作するときは、先に手すりを格納してから操作してください。

車いすの乗せ降ろしと固定について

各部の名称



車いすの乗せ降ろしと固定について

車いすの乗せかたおよび固定のしかた

■ 車いす乗員の姿勢について

- 手を車いすのアームレストの内側に置いてください。
- 足を車いすのフットレストの上に置いてください。



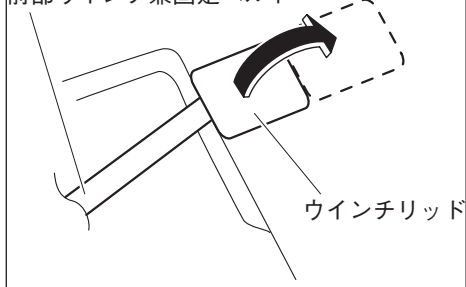
注意

- 乗降させるときに車いす乗員の手足はさまないように気をつけてください。

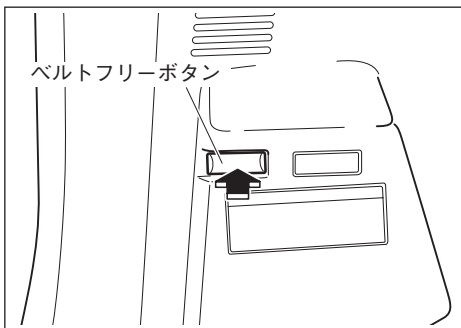
■ 車いすの乗せかた

1. パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーを **P** にいれ、エンジンを停止してください。
2. スロープを設置します。
「8 ページ スロープの設置を参照ください。」
3. 車いすをスロープと平行に合わせて、スロープ先端位置まで移動します。
4. 車いすの主輪のブレーキをかけて主輪をロックします。
5. 左右のウインチリッドを開きます。

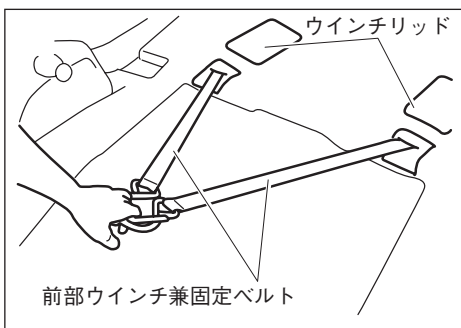
前部ウインチ兼固定ベルト



6. ベルトフリーボタンを押して、ベルトフリーモードにします。
(ベルトフリーモードは、ベルトフリーボタンを押すと、3秒間隔で「ピーッ」とブザーが鳴り続けブザーが鳴っている間はベルトを手動で引き出すことができます)
(ベルトフリーモードはリモコンを使用するか、再度ベルトフリーボタンを押せば解除され、ブザーが鳴り止みます)



7. 前部ウインチ兼固定ベルトをねじれやたるみのない状態で手で持ちます。



⚠ 警告

- 車いすでの乗降（固定・解除）は、介助者が行なってください。車いすご使用の方だけの乗降は、脱輪、転倒のおそれがあります。
- 車いすを乗降させたときは、車いすのブレーキをかけて、車いすを固定してください。
- 車いすは前部ウインチ兼固定ベルトに確実に固定してください。確実に固定されていないと、車いすがはずれて転倒するなどのおそれがあります。
- お子様には操作させないでください。

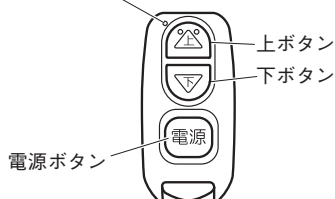
⚠ 注意

- 前部ウインチ兼固定ベルトのフック部は手で持って引き出し、ベルトにねじれがないことを確認してください。ベルトがねじれたまま使用するとベルトの強度が低下し、車いすを確実に固定できないおそれがあります。

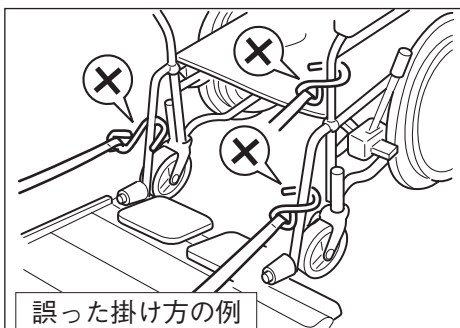
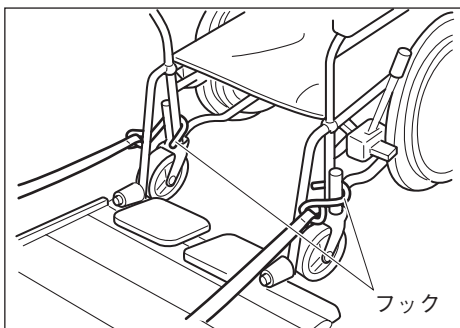
📖 アドバイス

- 次のようなときは、前部ウインチ兼固定ベルトは作動しません。
 - ・ バックドアが閉まっているとき
 - ・ パーキングブレーキを解除しているとき
- 前部ウインチ兼固定ベルトを手で持ち、引っ張りながら、リモコンの電源ボタンを押した後、下ボタンを押し続けると、ベルトフリーモードにせず、前部ウインチ兼固定ベルトを引き出すことができます。

作動表示ランプ



8. 前部ウインチ兼固定ベルトを引き出します。
9. 前部ウインチ兼固定ベルトのフックを車いす前輪のすぐ上の縦フレームの付け根部にかけ、車いす主輪のブレーキをロック解除します。



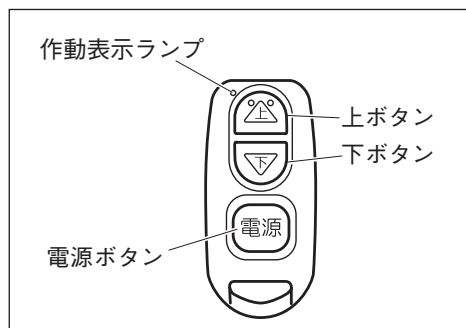
10. 車いすがスロープの左右中央にあることを確認します。

車いすの乗せ降ろしと固定について

11. ウインチを使用し車いすを車両に乗せます。または、介助者が手押しで車いすを車両に乗せます。

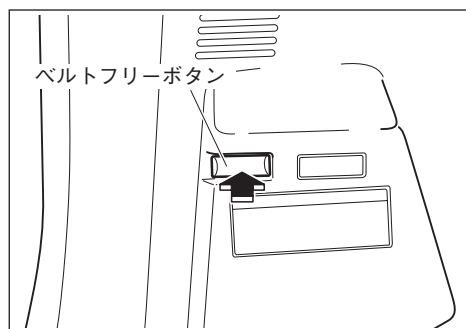
(ウインチを使用するとき)

- (1) リモコンの電源ボタンを押した後、上ボタンを押して、車いすを車両に乗せます。
- (2) 介助者が車いすの押し手を両手で握り、次のことを確認しながら、リモコンを指先で操作してください。
 - 車いすの車輪の位置・方向
 - 車いすご使用の方の頭や手足の位置
 - 前部ウインチ兼固定ベルトの左右の長さ



(介助者が手押しするとき)

- (1) 再度、ベルトフリーボタンを押して、ベルトフリーモードを解除します。(ブザーが鳴り止みます。)



- (2) 介助者が手押しで車いすを車両に乗せます。



警告

- 前部ウインチ兼固定ベルトがねじれている場合は、ウインチの巻き取りが正常に作動しないため、車いすが脱輪するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

- 車いすを乗せるときは、車いすご使用の方の手や足をはさんだり、脱輪しないように注意してください。
- エンジンを停止しているとき、ウインチ操作をむやみに繰り返さないでください。バッテリーあがりの原因になります。



アドバイス

- リモコンを操作するとベルトフリーモードは解除されます。解除することにより、万一のときの後退防止機能が作動します。
- 前部ウインチ兼固定ベルトの左右ベルト長に差異が無いこと、ねじれないことを確認してください。

12. 車いすの後輪の中心が床面の車いす停止マーク▲に合う位置までゆっくり前進します。



警告

- 車いす停止マーク▲は目安です。車いすの種類やサイズによって、次の点に注意して調整してください。
 - ・シートとの間に足をはさまないこと。
 - ・バックドアと頭部が当たらないこと。
 - ・バックドアおよびスロープに車いすの一部（車輪、手すりなど）が触れないこと。
- 床面のフックは車いすや荷物の固定には使用しないでください。重量物を固定するためのものではありませんので、万一のとき乗員がけがをしたり、車両を損傷させたりするおそれがあります。

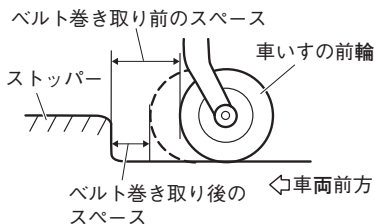


車面前方



注意

- ウインチ兼固定ベルトの巻き取り後は、車いす前輪とストッパーの間に、スペースが確保されていることを確認してください。スペースが確保されていない場合、車いすが確実に固定できないおそれがあります。



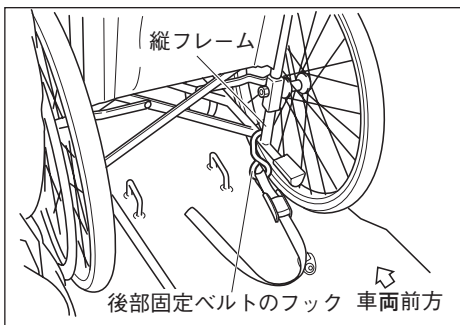
アドバイス

- バッテリーがあがったときは（エンジンが始動できなくなったときは）、ウインチは作動しません。バッテリーを交換するか、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

注意

- ウインチは車いす乗降の補助装置であり、その昇降性能には限界があります。車いすの乗降は、常に介助者が車いすを支える必要があります。ウインチの昇降能力は車いすと車いすの乗員を合わせて120kg までです。これ以上の場合、介助者が車いすを押し上げたり、降車時に車いすを支えたりする必要があります。また、120kg 以下であっても、次のような場合には昇降できない場合があります。
 - ・ バッテリーが消耗しているとき
 - ・ 昇降を繰り返してモーターが熱をもったとき
 - ・ 坂道に駐車しているとき（安全に乗車できる平らな場所に移動してください。）

13. 車いすの主輪ブレーキをかけて主輪をロックします。
14. 車体後部フロアに取り付けられている後部固定ベルトのフックを車いすの図の位置（左右2 か所）にかけます。



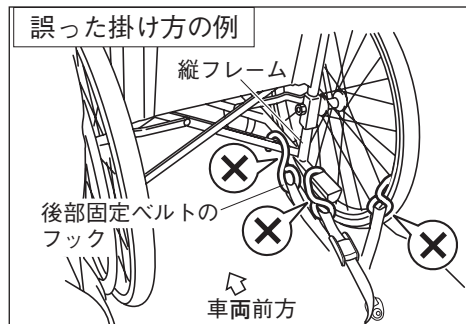
車いすの乗せ降ろしと固定について



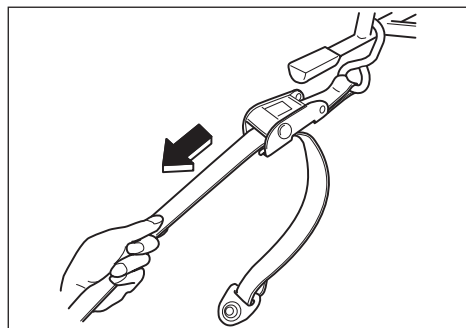
警告

- 後部固定ベルトのフックは、車いすの縦フレームの前側の位置に車両斜め後方へ引くようにしてかけてください。誤ったかけ方をすると、車いすを確実に固定できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

誤った掛け方の例



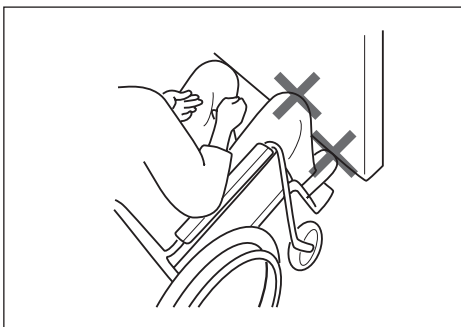
15. 後部固定ベルトに弛みが残らない程度手締めします。リモコンの電源ボタンを押した後、ピッピッとブザーが鳴るまで上ボタンを押し続け、ウインチを巻き上げ、車いすを固定します。



16. 車いすを固定した後は、次の点を確認してください。

いずれか一つでも満たさない場合は、前輪の固定からやり直してください。

- バックドアと頭部があたらないこと。
- バックドアに車いすの一部（車輪、手すりなど）が触れないこと。
- スロープに車いすの一部（押し手）が触れないこと。
- 車いすの乗車位置を左右均等にするここと。
- シートとの間に足をはさまないこと。



警告

- 車いすを固定するときは、リモコンの上ボタンを「ピッピッ」と音がするまで押し続け（2～3秒）、モーター停止後ベルトにたるみがないことを確認してください。「ピッピッ」と音がする前に上ボタンから手をはなすと、ベルトの締め付け方が不十分なため、車いすを確実に固定できなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 車いすご使用の方の後頭部とバックドアとの間には、十分なすき間を確保してください。バックドアを閉めたときに後頭部をぶつけるなど重大な事故につながるおそれがあります。
- 車いすによっては、確実な固定のできないものがあります。固定可能な車いすを使用してください。確実に固定されていないと、重大な傷害につながるおそれがあります。



注意

- モーター停止後は、ボタンを押し続けしないでください。ボタンを押し続けると、モーターや他の回路が過熱し、故障につながるおそれがあります。
- 後部固定ベルトは、左右の長さを均等にして取り付けてください。



アドバイス

(リモコンを紛失、または電池切れの場合)

- 18 ページ「車いすの乗せかた」の手順 1 ～ 13 に従って、介助者が手押しで車いすを車両に乗せてください。
- 21 ページの手順 14 ～ 15 に従って、後部固定ベルトを取り付けてください。
- 下記 1 ～ 3 の手順で車いすを固定してください。
 1. ベルトフリーボタンを 5 秒以上長押しします。エマージェンシーモードへ切り替わり、1 秒間隔で「ピーッ」とブザーが 10 秒間鳴り続けます。
 2. ブザーが鳴り続けている間に、再度ベルトフリーボタンを「ピッピッ」とブザーが鳴るまで押し続けます。ベルトが巻き取られ車いすを固定します。
 3. ベルトに弛みがないことを確認します。

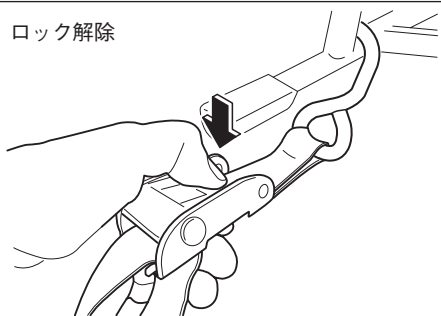
車いすの乗せ降ろしと固定について

車いすの降ろしかた

■ 車いすの降ろしかた

1. パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーを **P** にいれ、エンジンを停止してください。
2. 後部固定ベルトのバックルを指で押し、ベルトのロックを解除します。車いすの縦フレームから後部固定ベルトをはずし、フロアフックにかけます。

ロック解除



👉 アドバイス

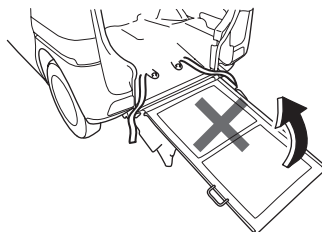
- 後部固定ベルトのバックルが硬くて解除できないときは、車いす主輪のブレーキをロック解除し、ウインチで車いすを後方に下げて、後部固定ベルトのロックを解除してください。

フロアフック



⚠️ 注意

- 車いすから後部固定ベルトのフックを取りはずした後は、フロアフックにかけてください。フックにかけないままにしておくと、後部固定ベルトの破損につながるおそれがあります。
- エンジンを停止しているとき、ウインチ操作をむやみに繰り返さないでください。バッテリーあがりの原因になります。
- 後部固定ベルトが車外へ出ていないか確認してください。後部固定ベルト、テールゲートの破損につながるおそれがあります。

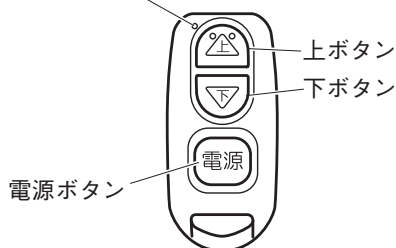


3. ウインチを使用し車いすを車両から降ろします。または、介助者が車いすを引き、車両から降ろします。

(ウインチを使用するとき)

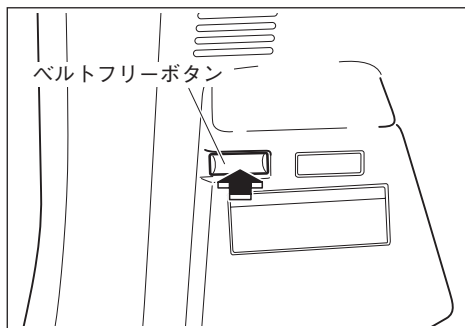
- (1) 車いす主輪のブレーキレバーを解除します。
- (2) 車いすを降車方向へ引きながらリモコンの電源ボタンを押した後、下ボタンを押し続けて車いすを車両から降ろします。

作動表示ランプ



(介助者が引くとき)

- (1) ベルトフリーボタンを押して、ベルトフリーモードにします。
(ベルトフリーモードは、ベルトフリーボタンを押すと、3秒間隔で「ピーッ」とブザーが鳴り続けブザーが鳴っている間はベルトを手動で引き出すことが出来ます)
(ベルトフリーモードはリモコンを使用するか、再度ベルトフリーボタンを押せば解除され、ブザーが鳴り止みます)



- (2) 車いすが動かないように介助者が車いすを固定させたまま、車いす主輪のブレーキレバーを解除します。
(3) 介助者が車いすの押し手を引き、車いすを車両から降ろします。

警告

- 車いすでの乗降(固定・解除)は、介助者が行なってください。車いすご使用の方だけの乗降は、脱輪、転倒のおそれがあります。
- 車いすを乗降させたときは、車いすのブレーキをかけて、車いすを固定してください。
- 車いす前部ウインチ兼固定ベルトに確実に固定してください。確実に固定されていないと、車いすがはずれて転倒するなどのおそれがあります。
- お子様には操作させないでください。

注意

- 車いすの前輪が反転するときに前部ウインチ兼固定ベルトがゆるみ、車いすが急速に動くことがありますので注意してください。
- リモコンのボタンは必要以上に長い間押さないでください。長い間押すことを繰り返すと、電池を著しく消耗することがあります(電池の寿命が短くなるおそれがあります)。

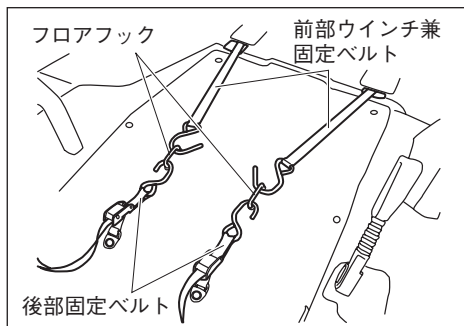
アドバイス

- リモコンが電池切れになり電池交換を行うまでは、十分に注意してベルトフリーモードで車いすを降ろしてください。
 - 次のようなときは、前部ウインチ兼固定ベルトは作動しません。
 - ・ バックドアが閉まっているとき
 - ・ パーキングブレーキを解除しているとき
 - 前部ウインチ兼固定ベルトのロックがかかったまま、車いすが降車できない場合は、車いす乗車の方のつま先に注意しながら、いったん車いすを前方へ押してください。前部ウインチ兼固定ベルトのロックが解除され、スムーズに車いすを降車させることができます。
- (ウインチを使用するとき)
- リモコンの電源ボタンを押した後、下ボタンを押すと、一度乗車方向に上昇する場合がありますが、異常ではありません。
 - リモコンの下ボタンを押し続けて車いすを降ろしているときにボタンから手をはなすと、作動は停止します。

4. 車いす主輪のロックをかけ、前部ウインチ兼固定ベルトのフックをはずします。

車いすの乗せ降ろしと固定について

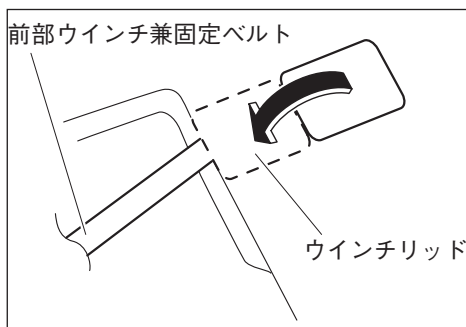
5. 前部ウインチ兼固定ベルトの先端をフロアフックにかけます。



注意

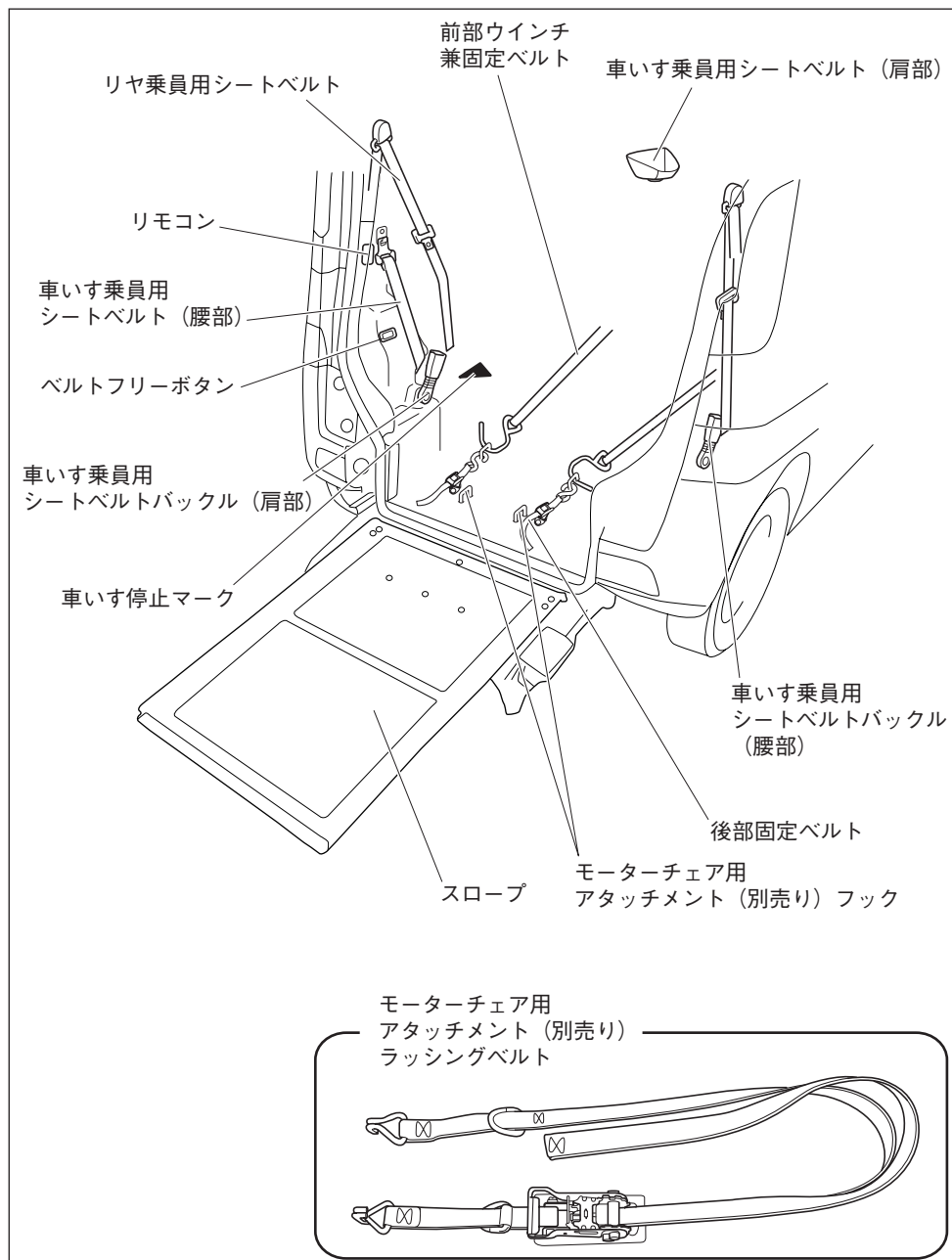
- 前部ウインチ兼固定ベルトを巻き取るときは、フックを持ってください。フックを持たずにフロア上で巻き取らせると、スロープやベルトなどが損傷するおそれがあります。
- 前部ウインチ兼固定ベルトをフロアフックにかけたままウインチで巻き取ると、ベルトフリーモードが使用できなくなり、ベルトがフロアフックからはずせなくなるおそれがあります。前部ウインチ兼固定ベルトがフロアフックから外せなくなったときは、リモコンの電源ボタンを押した後、上ボタンを「ピッピッ」とブザーが鳴るまで押します。すぐに下ボタンを3秒程度押します。続いてベルトフリーボタンを押します。ベルトフリーモードになれば、ベルトのフックをフロアフックからはずします。ベルトフリーモードにならないときは、アンダーラインの操作を繰り返してください。

6. 左右のウインチリッドを閉じます。



モーターチェアの乗せ降ろしと固定について

各部の名称



モーターチェアの乗せかたおよび固定のしかた

■ モーターチェア乗員の姿勢について

- 手をモーターチェアのアームレストの内側に置いてください。
- 足をモーターチェアのフットレストの上に置いてください。



注意

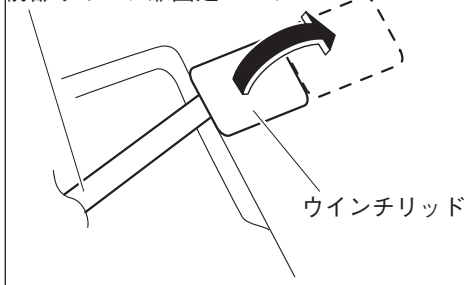
- 乗降させるときに車いす乗員の手足はさまないように気をつけてください。

- モーターチェアの型式により、キャリングハンドルが装備されていないものがあります。キャリングハンドルが装備されていないモーターチェアは車両に固定することができません。スズキ販売店またはスズキ代理店にお問い合わせください。

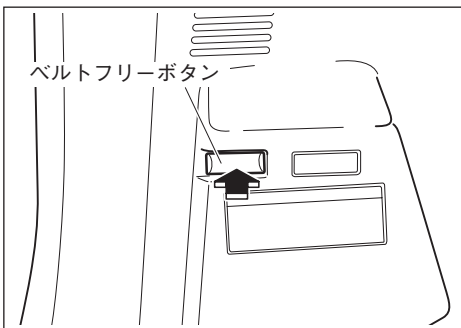
■ モーターチェアの乗せかた

1. パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーを **P** にいれ、エンジンを停止してください。
2. スロープを設置します。
→ 8 ページ (スロープの設置)
3. モーターチェアをスロープ先端位置まで移動し、モーターチェアの左右のクラッチレバー位置を **走行** にして車輪を確実にロックします。
4. 左右のウインチリッドを開きます。

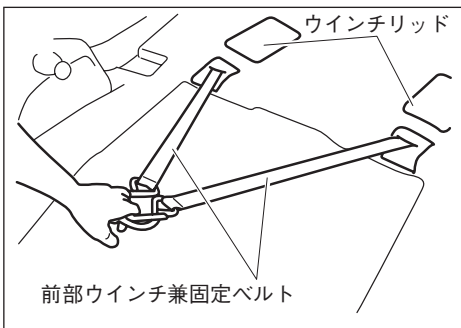
前部ウインチ兼固定ベルト



5. ベルトフリーボタンを押して、ベルトフリーモードにします。
(ベルトフリーモードは、ベルトフリーボタンを押すと、3秒間隔で「ピーッ」とブザーが鳴り続けブザーが鳴っている間はベルトを手動で引き出すことができます)
(ベルトフリーモードはリモコンを使用するか、再度ベルトフリーボタンを押せば解除され、ブザーが鳴り止みます)



6. 前部ウインチ兼固定ベルトをねじれやたるみのない状態で手で持ちます。



⚠ 警告

- モーターチェアでの乗降（固定・解除）は、介助者が行なってください。モーターチェアご使用の方だけの乗降は、脱輪、転倒のおそれがあります。
- モーターチェアを乗降させたときは、モーターチェアのブレーキをかけて、モーターチェアを固定してください。
- モーターチェアは前部ウインチ兼固定ベルトに確実に固定してください。確実に固定されていないと、モーターチェアがはずれて転倒するなどのおそれがあります。
- お子様には操作させないでください。

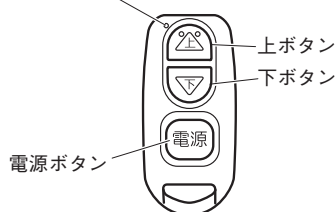
⚠ 注意

- 前部ウインチ兼固定ベルトのフック部は手で持って引き出し、ベルトにねじれがないことを確認してください。ベルトがねじれたまま使用するとベルトの強度が低下し、モーターチェアを確実に固定できないおそれがあります。

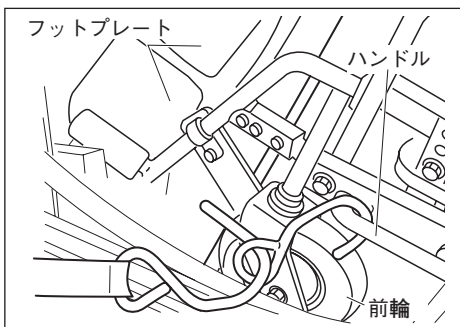
📏 アドバイス

- 次のようなときは、前部ウインチ兼固定ベルトは作動しません。
 - ・ バックドアが閉まっているとき
 - ・ パーキングブレーキを解除しているとき
- 前部ウインチ兼固定ベルトを手で持ち、引っぱりながらリモコンの電源ボタンを押した後、下ボタンを押し続けると、ベルトフリーモードにせず前部ウインチ兼固定ベルトを引き出すことができます。

作動表示ランプ



7. 前部ウインチ兼固定ベルトを引き出します。
8. 前部ウインチ兼固定ベルトのフックをモーターチェアのハンドルにかけます。

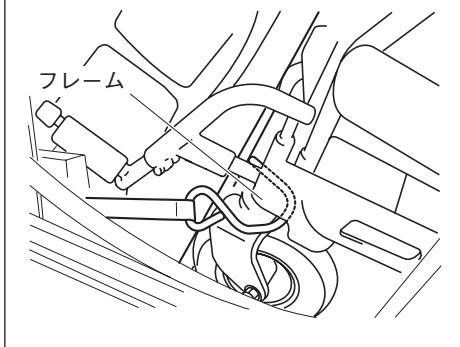


⚠ 注意

- 前部ウインチ兼固定ベルトを通すときは、モーターチェアの電気配線の下を通してください。ハーネスの上を通すと、前部ウインチ兼固定ベルトを締めるときに電気配線を損傷するおそれがあり、モーターチェアの故障の原因になります。

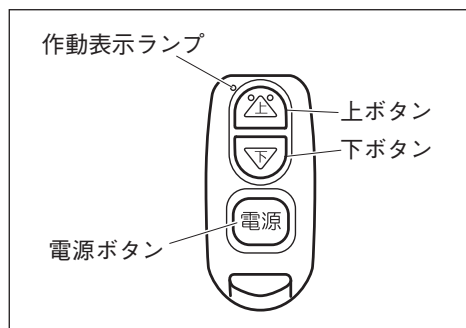
📏 アドバイス

- ハンドルがないタイプのモーターチェアは前輪上部のフレーム部分にかけてください。



モーターチェアの乗せ降ろしと固定について

9. モーターチェアがスロープの左右中央にあることを確認します。
10. リモコンの電源ボタンを押した後、上ボタンを押して、前部ウインチ兼固定ベルトを張った状態にします。



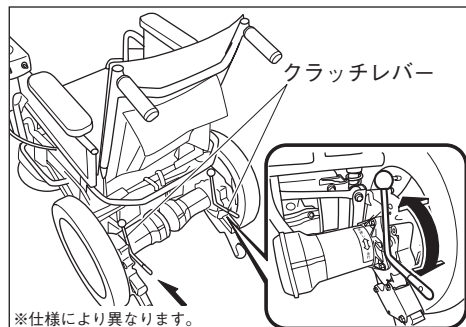
警告

- 前部ウインチ兼固定ベルトがねじれている場合は、ウインチの巻き取りが正常に作動しないため、モーターチェアが脱輪するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- リモコンを操作するとベルトフリーモードは解除されます。
- 前部ウインチ兼固定ベルトの左右ベルト長に差異が無いこと、ねじれがないことを確認してください。

11. モーターチェア左右のクラッチレバーを **手押し** にします。



12. モーターチェアを車両に乗せます。

- (1) リモコンの電源ボタンを押した後、上ボタンを押します。
- (2) 介助者がモーターチェアの押し手を両手で握り、次のことを確認しながら、リモコンを指先で操作してください。
 - モーターチェアの車輪の位置・方向
 - モーターチェアご使用の方の頭や手足の位置
 - 前部ウインチ兼固定ベルトの左右の長さ
 - ジョイスティックと手すりとの位置

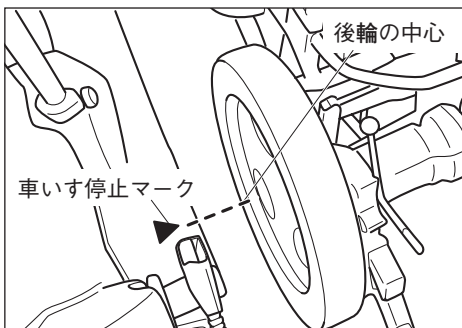
注意

- エンジンを停止しているとき、ウインチ操作をむやみに繰り返さないでください。バッテリーあがりの原因になります。

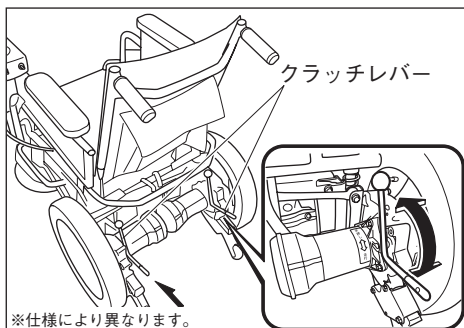
アドバイス

- ジョイスティックと手すりが干渉する場合は、手すりを絡納してください。

13. モーターチェアの後輪の中心が床面の車いす停止マーク▲に合う位置までゆっくり前進します。



14. 前部ウインチ兼固定ベルトがたるまないようにモーターチェアを後方へ引っ張り、モーターチェアの電源ボタンを OFF、左右のクラッチレバー位置を **走行** にして、車輪を確実にロックします。



⚠ 警告

- 前部ウインチ兼固定ベルトに、たるみが無いことを確認の上、主輪のブレーキをかけてください。前部ウインチ兼固定ベルトに、たるみがあると、モーターチェアを確実に固定できないため、重大な損傷につながるおそれがあります。
- 車いす停止マーク▲は目安です。モーターチェアの種類やサイズによって、次の点に注意して調整してください。
 - ・シートとの間に足をはさまないこと。
 - ・バックドアと頭部が当たらないこと。
 - ・バックドアにモーターチェアの一部（車輪、手すりなど）が触れないこと。

⚠ 注意

- ウインチはモーターチェア乗降の補助装置であり、その昇降性能には限界があります。ウインチの昇降能力はモーターチェアとモーターチェアの乗員を合わせて 120kg までです。これ以上の場合は、介助者がモーターチェアを押し上げたり、降車時にモーターチェアを支えたりする必要があります。また、120kg 以下であっても、次のような場合には昇降できない場合があります。このような場合も同様に介助者が補助する必要があります。
 - ・ バッテリーが消耗しているとき
 - ・ 昇降を繰り返してモーターが熱をもったとき
 - ・ 坂道に駐車しているとき（安全に乗車できる平らな場所に移動してください。）

💡 アドバイス

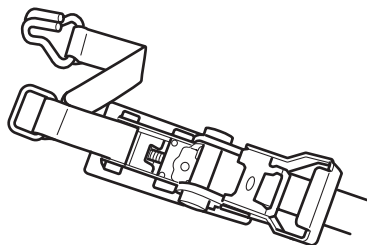
- バッテリーがあがったときは（エンジンが始動できなくなったときは）、ウインチは作動しません。バッテリーを交換するか、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

モーターチェアの乗せ降ろしと固定について

■ モーターチェアの固定のしかた

モーターチェア用アタッチメント（別売り）に付属しているモーターチェア固定用のラッシングベルト（以下「ベルト」という。）を使用します。

ベルトを表にした状態

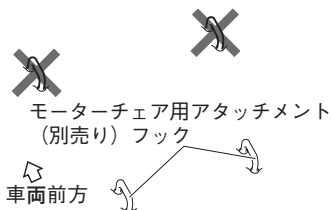


⚠ 警告

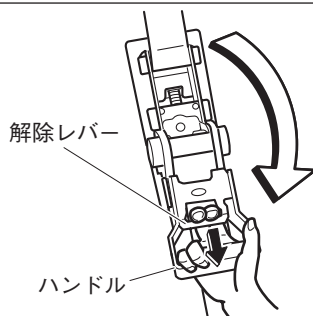
- モーターチェアは確実に固定してください。確実に固定されていないと、万のときモーターチェアがバランスを崩し転倒するなどして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ベルトにほつれ、すりきずなどの異常があるとき、または、バックルや金具が変形したり、部品が欠落したときは、使用しないでください。モーターチェアを確実に固定することができず、思わぬ事故につながるおそれがあります。このようなときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠ 警告

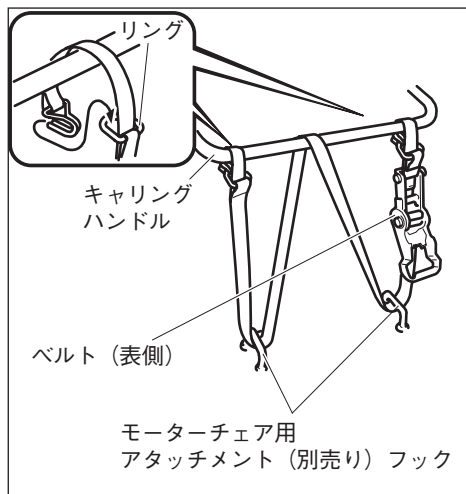
- モーターチェア固定の際は、最前列2つのフックは使用しないでください。万のとき乗員がけがをしたり、車両を損傷させるおそれがあります。



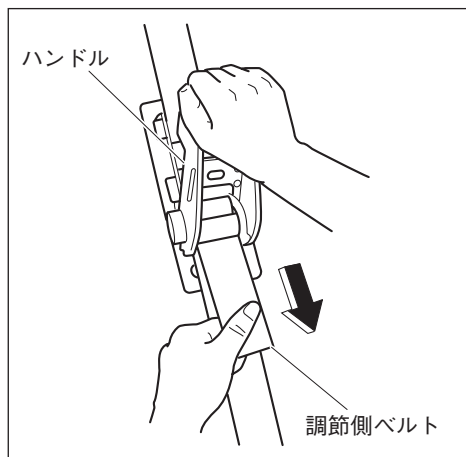
- 解除レバーを引いたまま、ハンドルを180° 倒します。カチッと音がするとベルトをゆるめることができます。



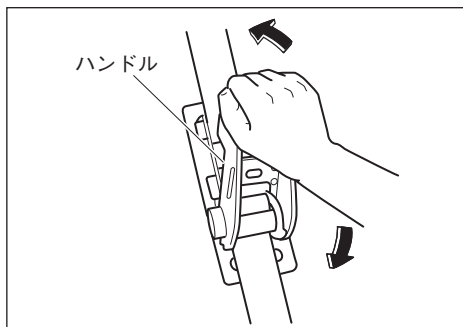
2. ベルトの先のフックを、モーターチェアのキャリングハンドル右側に渡してまわし、リングの中に入れます。ベルトのもう一方は、車両のフックの右から左へ渡し、キャリングハンドル左側で同様にしてリングの中に入れます。



3. ハンドルを起し、調節側ベルトを矢印の方向に引き、たるみを取ります。



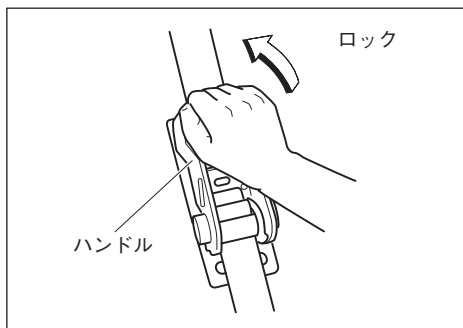
4. ハンドルを上下に操作してベルトを巻き取ります。



警告

- ベルトのハンドルを半開きの状態で使用しないでください。誤って手や足をはさむと、けがをするおそれがあります。モーターチェアを固定したあとはベルトのハンドルを確実に倒してください。

5. ベルトがピンと張った状態で、ハンドルを倒してロックさせます。ハンドルを倒したあとは、ベルトにゆるみがないことを確認してください。



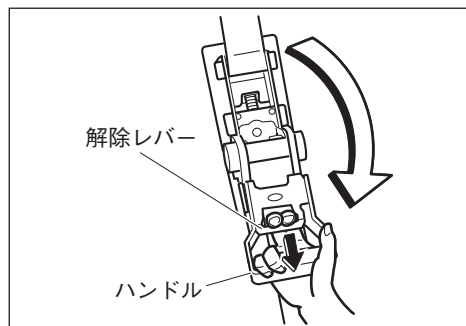
6. モーターチェアを前後に軽くゆさぶり、モーターチェアが動かないことを確認してください。

モーターチェアの乗せ降ろしと固定について

モーターチェアの降ろしかた

■ モーターチェアの降ろしかた

1. 解除レバーを引いたまま、ハンドルを180° 倒します。カチッと音がするとベルトをゆるめることができます。



2. 固定するときと逆の手順でベルトを取りはずします。取りはずしたベルトは、必ずグローブボックスへ格納してください。

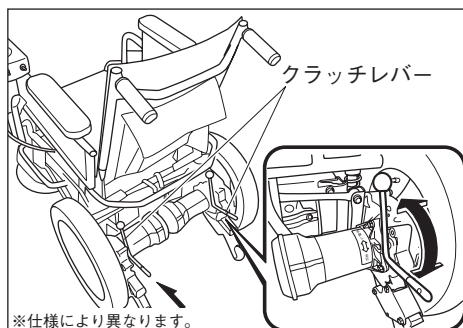


警告

- ベルトにほつれ、すりきずなどの異常があるとき、または、バックルや金具が変形したり、部品が欠落したときは、使用しないでください。モーターチェアを確実に固定することができず、思わぬ事故につながるおそれがあります。このようなときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。

3. パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーを **P** にいれ、エンジンを停止してください。

4. モーターチェア左右のクラッチレバーを **手押し** にします。

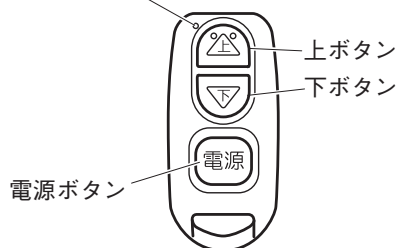


アドバイス

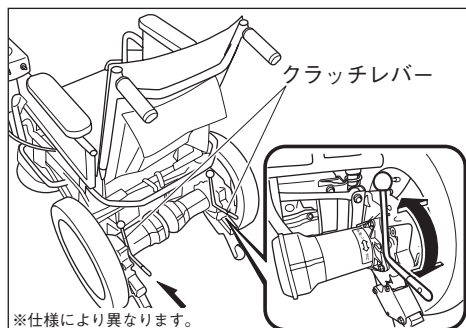
- 次のようなときは、前部ウインチ兼固定ベルトは作動しません。
 - ・ バックドアが閉まっているとき
 - ・ パーキングブレーキを解除しているとき

5. ウインチを使用してモーターチェアを降ろします。モーターチェアを降車方向へ引きながらリモコンの電源ボタンを押した後、下ボタンを押し続けてモーターチェアを降ろします。

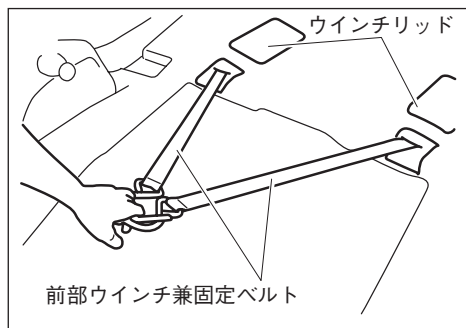
作動表示ランプ



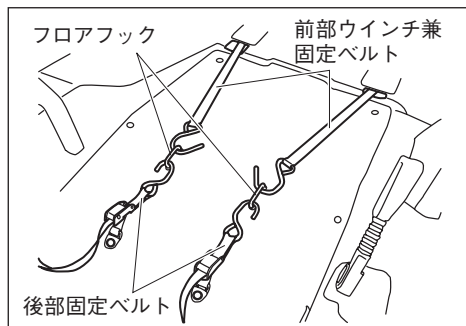
6. モーターチェアの電源ボタンを OFF、左右のクラッチレバー位置を「走行」にして車輪をロックし、前部ウインチ兼固定ベルトのフックをはずします。



7. 前部ウインチ兼固定ベルトをねじれやたるみのない状態で手で持ちます。



8. ベルトを巻き取り、フロアフックにかけおきます。



警告

- モーターチェアを降ろすときは、脱輪しないようゆっくり確実にウインチを操作してください。万一脱輪すると、転倒したりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- モーターチェアご使用の方だけでの降車は、しないでください。手をはさんだり、転倒したりするおそれがあります。

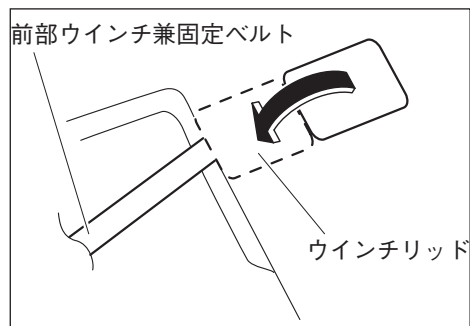
注意

- モーターチェアの前輪が反転するときに前部ウインチ兼固定ベルトがゆるみ、モーターチェアが急速に動くことがありますので注意してください。
- 前部ウインチ兼固定ベルトを巻き取るときは、フックを持ってください。フックを持たずにフロア上で巻き取らせると、スロープやベルトなどが損傷するおそれがあります。
- リモコンのボタンは必要以上に長い間押さないでください。長い間押すことを繰り返すと、電池を著しく消耗することがあります（電池の寿命が短くなるおそれがあります）。
- 前部ウインチ兼固定ベルトを巻き取るときは、フックを持ってください。フックを持たずにフロア上で巻き取らせると、スロープやベルトなどが損傷するおそれがあります。
- 前部ウインチ兼固定ベルトをフロアフックにかけたままウインチで巻き取ると、ベルトフリーモードが使用できなくなり、ベルトがフロアフックからはずせなくなるおそれがあります。前部ウインチ兼固定ベルトがフロアフックから外せなくなったときは、リモコンの電源ボタンを押した後、上ボタンを「ピッピッ」とブザーが鳴るまで押します。すぐに下ボタンを3秒程度押します。続いてベルトフリーボタンを押します。ベルトフリーモードになれば、ベルトのフックをフロアフックからはずします。ベルトフリーモードにならないときは、アンダーラインの操作を繰り返してください。

🔧 アドバイス

- 次のようなときは、前部ウインチ兼固定ベルトは作動しません。
 - ・ バックドアが閉まっているとき
 - ・ パーキングブレーキを解除しているとき

9. 左右のウインチリッドを閉じます。



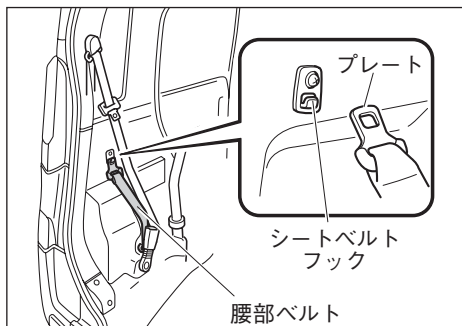
車いす乗員用シートベルトの着用のしかた

腰部ベルト、肩部ベルトで構成された3点式シートベルトです。走行前に必ず腰部ベルトと肩部ベルトの両方を着用し、正しく調節してください。汎用車いすをご使用の場合は、車いすの補助ベルトもあわせて着用してください。

警告

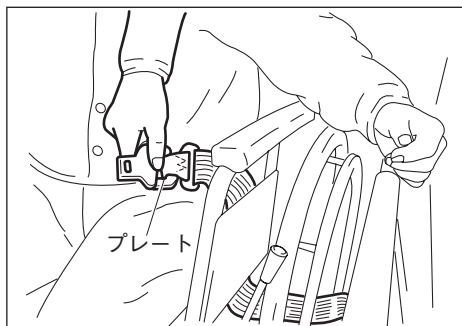
- シートベルトは正しく着用しないと、急ブレーキ時や衝突時に、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。詳しくは、別添の「スペーシア取扱説明書」をご覧ください。
- シートベルトを着用するときは、必ず車いすが固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと、車いす使用の方のシートベルトが正しく着用できず、急ブレーキ時や衝突時に、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートベルトの着用は介助者が行ない、正しく着用されていることを確認してください。
- シートベルトを着用した状態で、万一事故などにあった場合は、事故の衝撃でシートベルト本来の機能を損なっているおそれがありますので、スズキサービス工場で点検を受けてください。
- シートベルトにほつれ、すりきずなどの異常があるときは交換してください。このままの状態で使用すると、急ブレーキ時や衝突時にシートベルト本来の機能を果たさないおそれがありますので、スズキサービス工場で点検を受けてください。
- シートベルトの汚れを取るときは、中性洗剤を使用してください。汚れを取る際に漂白剤、有機溶剤、染料を使用しないでください。強度低下、しみ、変色などの原因となり、万一のときシートベルト本来の機能を果たさず、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 腰部ベルトを着用します。
プレートを持ち、シートベルトフックから取りはずし、シートベルトをゆっくり引き出します。



アドバイス

- シートベルトを急に引き出すとロックすることがあります。ロックしたときは、一度シートベルトを巻き取らせてからゆっくり引き出してください。
- 汎用車いすをご使用の場合は、プレートを車いす後輪タイヤのスポークの間と開口部（アームレスト下方で出来るだけ低い位置）に通し、反対側開口部、スポークの間まで導きます。モーターチェアご使用の場合は、プレートをモーターチェアの開口部に通し、反対側まで導きます。



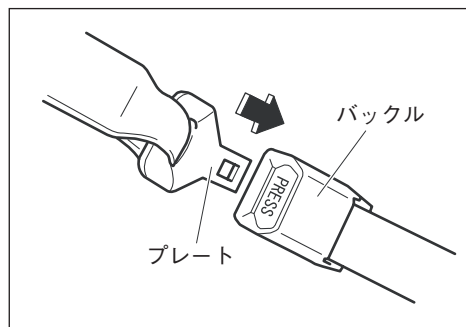
車いす乗員用シートベルト



警告

- シートベルトは車いす後輪タイヤのスポークの間と開口部（アームレスト下方で出来るだけ低い位置）を通してください。シートベルトがアームレストにかかった状態で使用すると、急ブレーキ時や衝突時に、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

- シートベルトにねじれがないことを確認して、プレートバックルにカチッという音がするまで差し込みます。

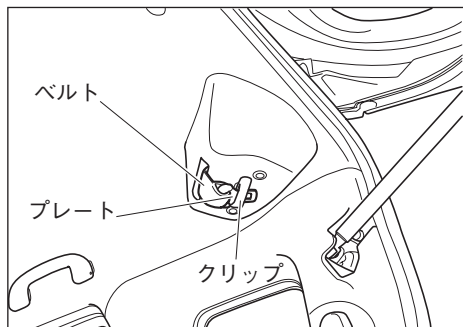


警告

- シートベルトがねじれた状態で使用しないでください。ねじれがあると、シートベルトの幅がせまくなるため、万一のとき衝撃力が分散されず局部的に強い力を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 肩部ベルトを着用します。

プレートを持ってクリップから取りはずし、シートベルトをゆっくり引き出します。



注意

- シートベルトを使用しないときは、プレートをクリップにはさんでください。クリップにはさまないと、走行中シートベルトが乗員に当たり、けがをするおそれがあります。



アドバイス

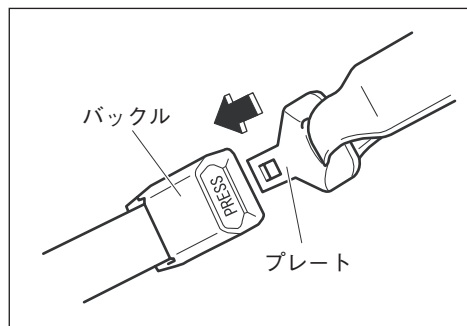
- シートベルトを急に引き出すとロックすることがあります。ロックしたときは、一度シートベルトを巻き取らせてからゆっくり引き出してください。

5. 汎用車いすご使用の場合は、プレートを開口部（アームレスト下方で出来るだけ低い位置）と車いす後輪タイヤのスポークの間に通します。モーターチェアご使用の場合は、プレートをモーターチェアの開口部（アームレスト下方で出来るだけ低い位置）に通します。



警告

- シートベルトは開口部（アームレスト下方で出来るだけ低い位置）と車いす後輪タイヤのスポークの間を通してください。シートベルトがアームレストにかかった状態で使用すると、急ブレーキ時や衝突時に、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。
6. シートベルトにねじれがないことを確認して、プレートをバックルにカチッという音がするまで差し込みます。



警告

- シートベルトがねじれた状態で使用しないでください。ねじれがあると、シートベルトの幅がせまくなるため、万一のとき衝撃力が分散されず局部的に強い力を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

7. シートベルトを調整し、次のことを確認します。

腰部ベルト：腰骨のできるだけ低い位置にかけ、たるみがないようにシートベルトを引いて腰部に密着させます。

肩部ベルト：首、あご、顔などにあたらず、肩に十分かかるようにします。





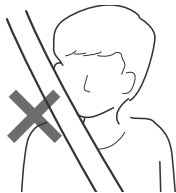
警告

(腰部ベルト)

- シートベルトは腰骨のできるだけ低い位置に密着させてください。シートベルトが腰骨からはずれていると、急ブレーキ時や衝突時に、腹部に強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

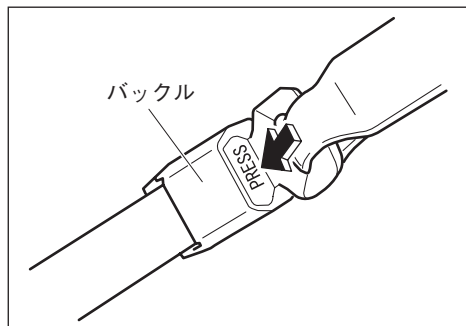
(肩部ベルト)

- シートベルトが首やあごに当たるときや、シートベルトが肩にかからないときは、肩部ベルトは使用しないでください。急ブレーキ時や衝突時に、首やあごに強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



車いす乗員用シートベルトのはずしかた

1. バックルのボタンを押します。
ベルトにねじれがないかを確認しながら、ゆっくりと巻き取らせます。

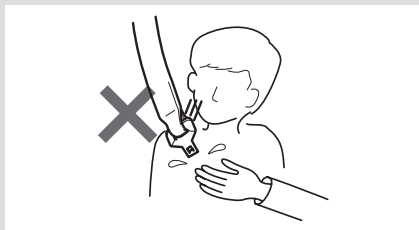


2. プレートをベルトフックやベルトクリップに固定します。

警告

(肩部ベルト)

- シートベルトをはずすときは、プレートから手をはなさないでください。プレートが顔などに当たり、重大な傷害につながるおそれがあります。



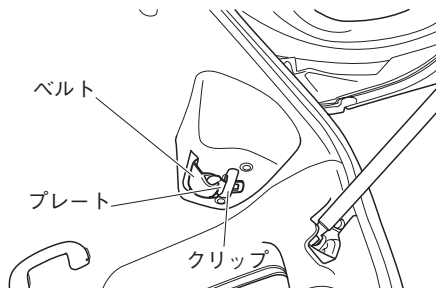
注意

(腰部ベルト)

- はずしたシートベルトは、シートベルトフックにかけてください。車輪に通したまま、また、シートベルトをフロアに置いたまま車いすを動かすと、シートベルトや車いすを損傷するおそれがあります。

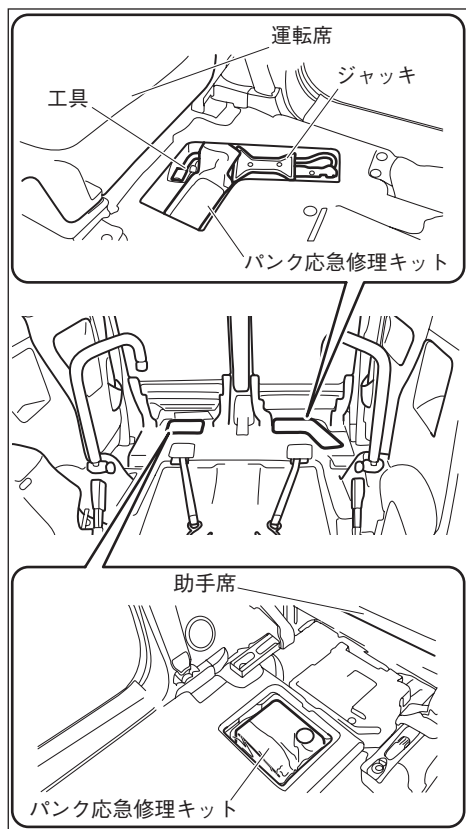
(肩部ベルト)

- はずしたシートベルトは、クリップにはさんでください。クリップにはさまないと、走行中シートベルトが車内の物に当たり、傷や音の原因となります。



パンクしたとき

■ 工具、ジャッキ、パンク応急修理キットの格納場所



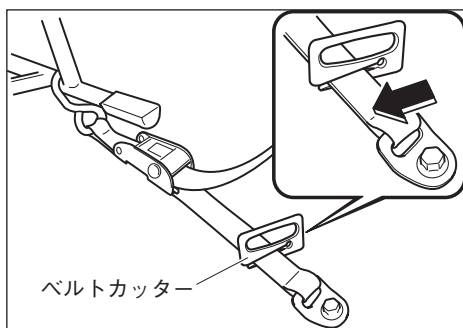
- 工具、ジャッキ、パンク応急修理キットは、運転席または助手席後方フロアマットの下に格納されています。工具、ジャッキ、パンク応急修理キットの使い方については、別添の「スペーシア取扱説明書」をお読みください。
- 工具、ジャッキ、パンク応急修理キットを使用したあとは、所定の位置に格納し、しっかり固定してください。

前部ウインチ兼固定ベルト、後部固定ベルトともに作動しないとき

🔧 アドバイス

次のようなときは、前部ウインチ兼固定ベルトは作動しません。

- バックドアが閉まっているとき
- パーキングブレーキを解除しているとき



万一、緊急の脱出時に、前部ウインチ兼固定ベルト、後部固定ベルトともに作動なくなり、車いすを取りはずせなくなったときは、応急処置としてグローブボックス内のベルトカッターで後部固定ベルトを切ってください。

- 応急処置後はスズキサービス工場で点検・修理を受けてください。カッターは、グローブボックスの中にあります。

⚠️ 注意

- カッターは前部ウインチ兼固定ベルトおよび後部固定ベルトを切る以外に使用しないでください。
- カッターを使用するときは、けがをしないようにしてください。
- カッターは介助者が使用し、使用する時には動かす方向に手、足、顔などを近づけないようにしてください。

点検整備について

後部固定ベルトの点検

お買い上げのスズキ販売店またはスズキ代理店で、定期的に後部固定ベルトの点検を行ってください。

また、車いす固定装置ご使用の前後にも、ベルトのほつれ、すりきれ、破れなどがなければ点検してください。



警告

- ベルトに異常があった場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。そのまま使用すると、車いすを確実に固定できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 降雨時などでフロア面がぬれたときや、フロア内を清掃するときは、水気をよくきったモップなどでふいてください。ウインチに水などが入ると故障の原因になり、重大な事故につながるおそれがあります。

前部ウインチ兼固定ベルトの点検

スズキ販売店またはスズキ代理店で、定期的に前部ウインチ兼固定ベルトの点検を行ってください。また、車いすを乗せる前や降ろした後にも、前部ウインチ兼固定ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどがなければ点検してください。



警告

- 前部ウインチ兼固定ベルトに異常があった場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。そのまま使用すると、重大な事故につながるおそれがあります。
- 前部ウインチ兼固定ベルトの汚れを取るときは、中性洗剤を使用してください。有機溶剤を使用したり、染色、漂白するとベルトの強度が低下し、万一の場合前部ウインチ兼固定ベルトの効果が十分発揮できないおそれがあります。

テールゲート (スロープを含む) の点検

車いす / モーターチェアを乗せるときは、テールゲート (スロープを含む) にがたつきやゆれみ、損傷などがなければ点検してください。

万一、異常があった場合は、お買い上げのスズキ販売店またはスズキ代理店で点検を受けてください。



警告

- テールゲート (スロープを含む) に異常があった場合は、お買い上げのスズキサービス工場で点検を受けてください。そのまま使用すると、重大な事故につながるおそれがあります。

点検整備方式

	点検整備項目	点検時期			交換時期(年)	備 考
		日常点検	1年毎	2年毎		
車 い す 固 定 装 置	作動具合（スムーズに作動するか、異音）	○	○	○		
	後部固定ベルト	○	○	○		ベルトにほつれ、すりきれ、破れ及びフックに損傷、腐食などがあるときには交換
	前部ウインチ兼固定ベルト	○	○	○		ベルトにほつれ、すりきれ、破れ及びフックに損傷、腐食などがあるときには交換
	モーターチェア用アタッチメント（別売り）のラッシングベルト	○	○	○		ベルトにほつれ、すりきれ、破れ及びフックに損傷、腐食などがあるときには交換

リコールなどについてのお願い

特定の期間に製造された特定の車種に、通常の使用中、不具合が発生するおそれがあると考えられる場合には、法令などに基づき、スズキの判断と責任において、保証書に基づく保証とは別にリコールなどを実施することがあります。なお、架装事業者である(株)マツダE&Tも、スズキと同様にリコールなどを実施する責務を有しております。

万一、お客様のお車がリコールなどの対象車に該当した場合にはご連絡いたしますので、ご面倒をおかけしますが、安全確保・公害防止のためにもご協力くださいますようお願いいたします。詳しくはスズキ代理店にお尋ねください。

なお、お客様へのご連絡は車検証の情報をもとに行ないますので、ご住所などを変更された場合は記載事項の変更手続きを行なってください。手続きされていない場合、リコールなどの重要なご連絡が届かないおそれがあります。（スズキ販売店またはスズキ代理店では有料で変更手続きの代行を行なっていますので、ご相談ください）

法令では、車検証の記載事項に変更があった場合、その事由があった日から15日以内に、お客様の責任において変更手続きを行なうことが義務づけられています。

リコール／改善対策

安全確保・公害防止の観点から必要と判断される場合、その対象となる自動車をご使用のお客様に直接ご連絡し、点検、修理を実施させていただきます。

サービスキャンペーン

商品性改善などの観点から必要と判断される場合、その対象となる自動車をご使用のお客様に直接ご連絡するか、スズキ販売店またはスズキ代理店へご来店時にお知らせし、点検、修理を実施させていただきます。

安全運転5か条

- ① 安全速度を必ず守りましょう。
- ② カーブの手前でスピードを落としましょう。
- ③ 交差点では必ず安全を確かめましょう。
- ④ 一時停止で横断歩行者の安全を守りましょう。
- ⑤ 飲酒運転は絶対しないようにしましょう。